

あいちハートクリニック 2025プラン

令和 4 年 1 月 策定

【あいちハートクリニックの基本情報】

医療機関名：あいちハートクリニック

開設主体：一般社団法人生活習慣病予防センター

所在地：愛知県知立市東上重原六丁目70番地

許可病床数：5

（病床の種別）

一般

（病床機能別）

回復期

稼働病床数：5

（病床の種別）

一般

（病床機能別）

回復期

診療科目：内科・外科・循環器内科・心臓血管外科・麻酔科

職員数：

医師 2名

看護職員 8名

専門職 臨床検査技師3名、診療放射線技師1名、臨床工学技士2名

事務職員、看護補助職員を含め 9名

【1. 現状と課題】

① 構想区域の現状

(人口の見通し)

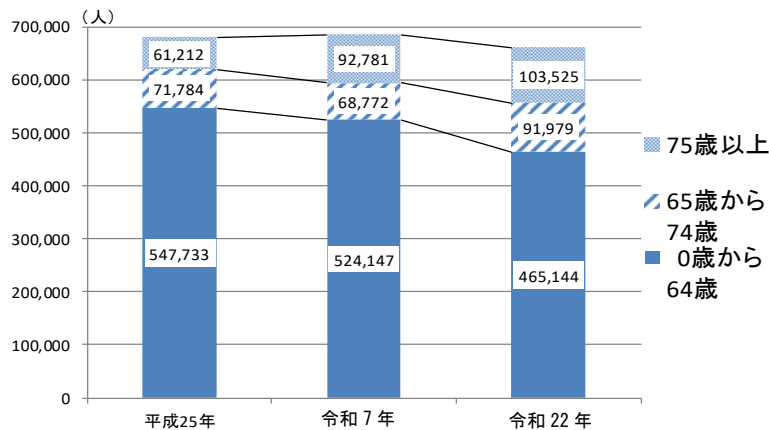
- 総人口は、令和7年(2025年)には微増し、令和22年(2040年)には微減します。65歳以上人口は増加していき、増加率は県全体と比べて高くなっています。

<人口の推移>

※ () は平成25年を1とした場合の各年の指数

区分	総人口			65歳以上人口			75歳以上人口		
	平成25年	令和7年	令和22年	平成25年	令和7年	令和22年	平成25年	令和7年	令和22年
県	7,434,996 (1.00)	7,348,135 (0.99)	6,855,632 (0.92)	1,647,063 (1.00)	1,943,329 (1.18)	2,219,223 (1.35)	741,801 (1.00)	1,165,990 (1.57)	1,203,230 (1.62)
西三河南部西	680,729 (1.00)	685,700 (1.01)	660,648 (0.97)	132,996 (1.00)	161,553 (1.21)	195,504 (1.47)	61,212 (1.00)	92,781 (1.52)	103,525 (1.69)

<西三河南部西構想区域>



(医療資源等の状況)

- 人口10万対の病院の病床数は、県平均の75.5%ですが、療養病床数は県平均の115.5%と多く、精神病床数は35.0%と非常に少なくなっています。人口10万対の医療従事者数については、医師数が県平均の74.6%と少なくなっています。
- DPC調査結果(DPC調査参加施設:5病院)によると、構想区域内において、ほぼ全ての主要診断群の入院及び救急搬送実績があり、緊急性の高い傷病(急性心筋梗塞・脳卒中・重篤な外的障害)及び高齢者の発生頻度が高い疾患(成人肺炎・大腿骨骨折)の入院実績があり、区域内に急性期入院機能を有していると考えられます。
- 消防庁データに基づく救急搬送所要時間については県平均とほぼ同様であり、DPC調査データに基づく緊急性の高い傷病(急性心筋梗塞・再発性心筋梗塞、くも膜下出血・破裂脳動脈瘤、頭蓋・頭蓋内損傷)の入院治療を行っている施設までの移動時間は、30分以内で大半の人口がカバーされていることから、医療機関への交通アクセスや医療機関の受け入れ体制等に大きな問題が生じていないと考えられます。
- 高度な集中治療が行われる特定入院料の病床については、平成28年3月現在、構想区域内(4病院)において、救命救急入院料・特定集中治療室管理料(ICU)・新生児特定集中治療室管理料(NICU)・総合周産期特定集中治療室管理料(MFICU)・新生児治療回復室入院医療管理料(GCU)の届出がされています。

○ 平成 25 年度 (2013 年度) NDB データに基づく特定入院の自域依存率は高い状況にあります。

<医療資源等の状況>

区 分	愛知県①	西三河南部西②	②/①
病院数	325	22	—
人口10万対	4.4	3.2	72.7%
診療所数	5,259	388	—
有床診療所	408	29	—
人口10万対	5.5	4.3	78.2%
歯科診療所数	3,707	288	—
人口10万対	49.9	42.3	84.8%
病院病床数	67,579	4,674	—
人口10万対	908.9	686.6	75.5%
一般病床数	40,437	2,791	—
人口10万対	543.9	410.0	75.4%
療養病床数	13,806	1,460	—
人口10万対	185.7	214.5	115.5%
精神病床数	13,010	417	—
人口10万対	175.0	61.3	35.0%
有床診療所病床数	4,801	364	—
人口10万対	64.6	53.5	82.8%

区 分	愛知県①	西三河南部西②	②/①
医療施設従事医師数	14,712	1,005	—
人口10万対	197.9	147.6	74.6%
病床100床対	20.3	19.9	98.0%
医療施設従事歯科医師数	5,410	414	—
人口10万対	72.8	60.8	83.5%
薬局・医療施設従事薬剤師数	10,525	917	—
人口10万対	141.6	134.7	95.1%
病院従事看護師数	36,145	2,958	—
人口10万対	486.1	434.5	89.4%
病床100床対	49.9	58.7	117.6%
特定機能病院	4	0	—
救命救急センター数	22	2	—
面積 (km ²)	5,169.83	364.25	—

(入院患者の受療動向)

○ 入院患者の自域依存率は、4 機能区分全てが 80%以上で、非常に高くなっています。また、近隣の 2 次医療圏からの流入も多くみられます。

<平成 25 年度の西三河南部西医療圏から他医療圏への流出入院患者の受療動向>

(単位：上段 人/日、下段：%)

患者住所地	医療機関所在地														
	名古屋	海部	尾張中部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三河北部	西三河南部東	西三河南部西	東三河北部	東三河南部	県外	合計	
西三河南部西医療圏	高度急性期	20	*	*	29	*	*	*	*	*	283	*	*	*	332
		6.0%	—	—	8.7%	—	—	—	—	—	85.2%	—	—	—	100.0%
	急性期	39	*	*	70	*	*	*	12	12	848	*	*	*	981
		4.0%	—	—	7.1%	—	—	—	1.2%	1.2%	86.4%	—	—	—	100.0%
	回復期	32	*	*	47	*	*	*	14	*	917	*	*	*	1,010
		3.2%	—	—	4.7%	—	—	—	1.4%	—	90.8%	—	—	—	100.0%
慢性期	23	*	0	49	0	13	*	23	11	687	0	24	*	830	
	2.8%	—	—	5.9%	—	1.6%	—	2.8%	1.3%	82.8%	—	2.9%	—	100.0%	

<平成 25 年度の他医療圏から西三河南部西医療圏への流入院患者の受療動向>

(単位：上段 人/日、下段：%)

医療機関所在地	患者住所地													合計	
	名古屋	海部	尾張中部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三河北部	西三河南部東	西三河南部西	東三河北部	東三河南部	県外		
西三河南部西医療圏	高度急性期	*	*	*	*	*	*	33	13	38	283	*	*	*	367
		—	—	—	—	—	—	9.0%	3.5%	10.4%	77.1%	—	—	—	100.0%
	急性期	*	*	*	11	*	*	75	33	71	848	*	11	*	1,049
		—	—	—	1.0%	—	—	7.1%	3.1%	6.8%	80.8%	—	1.0%	—	100.0%
	回復期	21	*	*	36	*	*	82	42	72	917	*	*	*	1,170
		1.8%	—	—	3.1%	—	—	7.0%	3.6%	6.2%	78.4%	—	—	—	100.0%
慢性期	22	*	*	16	0	*	92	32	27	687	*	*	*	876	
	2.5%	—	—	1.8%	—	—	10.5%	3.7%	3.1%	78.4%	—	—	—	100.0%	

② 構想区域の課題

- 平成 52 年(2040 年)まで 65 歳以上人口の増加率が県全体と比べて高いため、平成 52 年(2040 年)までの医療需要の増大を見据え、必要な医療需要や医療従事者の確保を始めとする包括的な医療提供体制を中・長期的に考えていく必要があります。
- 回復期機能の病床を確保する必要があります。

③ 自施設の現状

あいちハートクリニックは、内科外科の一般診療は勿論のこと、三大疾病の一つである循環器疾患、特に心血管疾患を専門的に診療している。当院が開院した知立市は、これまで循環器疾患の治療を標榜するクリニックが存在しなかったため、より地域に貢献できると考えた。また、循環器疾患の治療には、病気への理解を深めるための患者指導と、予防、診断、治療、急変に対応できる専門的な人材、検査、機器が必要である。そのため地域に根差した身近なクリニックと、心血管疾患の専門的検査治療ができるクリニックの、二つの面を兼ね添えるよう日々診療を行っている。

急性期緊急医療においては、地域の救急病院の体制が整っているため、当院では循環器疾患の予防検査及び治療に関して、迅速に小回りよく対応することに努めている。

また、コロナ渦において、緊急医療を行う大病院の機能は新型コロナ対応に追われており、加えて患者も通常診療を躊躇して当院を選択し検査治療を行うケースも散見されることから、そのような事態にも対応すべく、循環器疾患の検査から治療までを一貫して行える体制を整えて対応している。

○自施設の理念、基本方針等

基本方針：地域に根差した医療を実践する

- 理 念：最善の医療を目指します
 ：患者本位の医療を提供します
 ：職員の幸せと笑顔を守ります

○自施設の診療実績

- ・入院基本料 1 を実施、
- ・平均在院日数 1 日（日帰り入院及び一泊入院のみ）、
- ・病床稼働率 1.7床/日（日帰り入院比率8.5倍）

○職員

- ・医師 2 名
- ・看護職員 8 名
- ・専門職 臨床検査技師 3 名、診療放射線技師 1 名、臨床工学技士 2 名

- ・事務職員、看護補助職員を含め 9名

○自施設の特徴

4機能のうち回復期医療を中心とし、心臓カテーテル治療等も行う。

○自施設の担う政策医療

- ・生活習慣病に対する予防及び治療（糖尿病、急性心筋梗塞減少を目指した検査治療）、介護福祉施設への訪問診療3施設（特養、小規模特養、有料老人施設）
- ・他機関との連携（不安定狭心症、急性心筋梗塞に関してはしかるべき対応を行い連携する）

④ 自施設の課題

不整脈に対する外来診療及びフォローが増えており、循環器を標榜するうえで対応してゆく必要がある。

（具体例）

- ・隣接する市町村の専門病院で行われた不整脈治療に対する外来フォローやペースメーカーなどの埋め込みデバイスに対する管理など現在マンパワーの問題もあり拡充することができないが、今後法人化した後には、循環器専門の関連クリニックと強固な連携のもと地域での役割を果たしてゆく。
- ・不整脈専門外来の開設
- ・自院の既存設備でもすでに不整脈治療を行うことは可能なため、設備の有効利用を進める。

【2. 今後の方針】

① 地域において今後担うべき役割

- ・生活習慣病に対する予防及び治療
- ・循環器疾患の早期発見
- ・循環器カテーテル治療

② 今後持つべき病床機能

- ・一泊入院によるカテーテル治療を今後も継続。
- ・一泊入院による末梢血管手術を今後も継続。
- ・コロナ渦で顕在化した不必要短期入院の治療控えが起きたような事例を踏まえ、安全域を考慮したうえでの一泊入院、積極的な日帰り外科手術を増やしてゆく。

③ その他見直すべき点

- ・看護師数の昼間需要とのバランスから病床利用率が低いため、人材確保のうえ、夜間入院件数の増加を図る。

【3. その他】

今後の病床計画については、現存の5床を有効活用しながら生活習慣病予防のための地域貢献を行い、質の高い循環器専門クリニックとして診察から検査治療までを一貫して行うことを今後とも続ける。

法人化に伴い病床獲得や施設規模の拡大は行わない方針で、循環器専門クリニックのネットワーク展開にて、横の連携で地域に貢献していきたい。